

2024年5月25日発行

VOL.0037

地域生活サポートセンターぴぼっと南光台

第37号

ぴぼっと

南光台通信



発行： 社会福祉法人つどいの家地域生活サポートセンター「ぴぼっと南光台」

責任者： 三浦 郁美（管理者）

住所： 981-8003 仙台市泉区南光台 3 丁目 1-24

連絡先： TEL 022-779-7341 FAX 022-779-7342



★管理者から挨拶★



新年度を迎え、新緑の美しい季節となりました。新たな芽吹きと共に新しいことに挑戦する絶好の機会です。

ぴぼっと南光台の利用者さんの中には、複数人と共同で生活をするグループホームに入居されている方がいらっしゃいます。自宅とは違う環境で家族以外の方との生活になりますので、住まいの場ではありますが、他の入居者やスタッフとの関係を作りながら、時には遠慮したり、相手を優先にしたりと共同生活ならではの場面があるようです。そのような時に当事業所の移動支援を利用したり、イベント活動に参加したりと集団の時間から少し離れ、自分だけの時間を過ごすことでリフレッシュに繋がっています。私たちも学校や仕事など集団の場面ばかりでは疲れてしまいますよね。これからも個別の支援を大切にしながら、しょうがいのある方の心の支えとなれる事業所を目指していきたいと思っています。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

管理者 三浦郁美

令和6年度 総務



名前 みうらいくみ
三浦郁美

趣味 バレーボール



管理者

事務

名前 やまぐち
山口まなみ

趣味 おてら おんせん
お寺・温泉

すてっぴ・はうす



名前 たかはし かずや
高橋 和也

趣味 キャンプ・旅行



名前 さとう かずのり
佐藤 一範

趣味 キャンプ・釣り



名前 さかきばら ゆう
榊原 悠

趣味 三代目 J S B



名前 わたのべ みゆき
渡部 美由紀

趣味 ゲーム・ピアノ



名前 よこやま かな
横山 加奈

趣味 楽天観戦・サウナ



退職のお知らせ

よしだたいの
吉田泰延は

5月末を持ちまして、
退職いたします。



ヘルパー事業所

ぺんたす



こんの りゅうすけ
今野 竜佑



かわぐち まさこ
川口 雅子



くどう ふとし
工藤 太



きのした ようこ
木下 洋子



おおぬま まさき
大沼 真毅



おりはら せいじ
折原 誠司



ながさわ ひかり
長沢 ひかり



はぶ かずひろ
土生 和宏



おばら しょうご
小原 翔海



ガイドヘルパー養成講座開始



令和6年5月からガイドヘルパー養成講座が始まりました!(^)!
 昨年度4回だった講座を、大盛況により今年度は6回に増やしました!
 (詳しい日程は法人のホームページを見てみてください!)



広報活動では、各大学にご協力いただき、「しょうがい」を幅広く知ってもらうため、福祉系だけでなく看護系や美術系等の学科へも講座案内をさせていただいています。また、学生以外にも地域の方やガイドヘルパーに少しでも興味のある方のご応募もぜひお待ちしておりますので、不明点などあればご連絡ください!!



講義については、教科書に記載してあることはもちろん、各講師が今まで培ってきた経験からの体験談や関わりについての動画など、つどいの家で介護現場をたくさん経験しているからこそみなさんに伝えられることがあるのが魅力だと思っています。現在も多数の講座申し込みをいただいている状況です。たくさんの方との出会いに感謝しながら、支援の楽しさ、しょうがい理解を拡げていけたらと思っています。これから出会う受講生の皆さん!!楽しみに待っていますよ~(*^-^*) ペんたす 今野竜佑



ちょこ・活報告



3月26日(日)サロンにて、第5回ちょこ・活「企画会~ちょこ・活を盛り上げよう~」を開催しました。東北福祉大学の相場ゼミの学生さん5名と、相場先生にご参加いただき、初めにそれぞれのボランティア経験やそのきっかけ、どうすれば参加しやすいかなど、の情報交換を行いながら、今年度の企画を考えました。職員では思いつかないようなイベントや調理活動などの意見も出て、とても充実した時間を共有することができました。今年度からは学生さん主体でちょこ・活に携わってもらいたいという思いからの企画会の開催でしたので、とてもいいスタートが切れたのではないかと思います。

学生さんたちから一番意見が多かった「利用者さんといちご狩りに行く」は、5月6日(月)第6回ちょこ・活という形で実際に行うことができました。利用者さん4名、企画会に参加された学生4名、職員5名で、山元町の夢いちごの郷 菅野農園さんに伺い、



いちご狩りを行いました。支えが必要な利用者さんも両脇に学生さんに支え



てもらいながらビニールハウスのいちごラインを歩き、ニコニコ嬉しそうな表情を見せていました。始めは学生さんも利用者さんもお互いにどう関わったらいいか分からず緊張していましたが、車内で沢山交流できたこともあり、徐々に打ち解けていく様子がありました。

学生さんも利用者さんもたくさんの笑顔を見せて下さり、いちご狩り企画は大成功でした。

ペんたす 長沢ひかり

新任職員研修報告

4月に行われた新任職員研修では、これからつどいの家の職員として働くための知識や心構え、利用者さんとの関わり方などを学ばせていただきました。

そのなかでも特に私が大切にしていきたいと思ったものは、利用者さんの意思を大切にすることです。利用者さんによっては自身の意思を伝えることが難しく、自分のやりたいこと、好きなもの、嫌いなものを選択できない状況に陥ることがあると学びました。そしてその伝えられない意思を汲み取ることが、私たちの役目とも教えていただきました。伝えたいのに伝えられない、伝わらない環境に置かれた利用者さんの孤独を考えると、私たちは意思を汲み取る努力をし続けなければならないのだと感じました。

まだ入職して間もない身ではありますが、わからないなりにいろいろなことを試していきながら、少しずつ利用者さんたちの意思を理解できるようになっていきたいと思っています。

ぺんたす 大沼真毅



職員随想 すてっぴ・はうす 渡部美由紀

昔からそれとなく音楽をしていました。母がピアノをやっていたという理由から妹と一緒にピアノを始めました。また、小学校から高校生までは吹奏楽部に所属し、ユーフォニアムとトロンボーンを担当していました。ユーフォニアムとトロンボーンは同じ金管楽器なのですが、実はマウスピースも同じものを使います。その為、2年間だけユーフォニアムを担当し、その後は卒業するまでトロンボーンを担当していました。

学生の頃は皆で演奏できる吹奏楽の方が好きだったのですが、今は一人でも曲を演奏することができる

ピアノの方が好きです。就職してからも利用者さんの前でキーボードを弾いたり、ピアノに関しては演奏することがありました。

今は演奏する機会はないのですが、最近は持ち運びができるロールピアノを買いたいと思うこともあります。これからも趣味の範囲に留まらず、利用者さんと音楽を一緒に楽しむツールの一つとして、取り入れていけたらと思います。



赤ちゃん誕生 おめでとう ございます!



3月9日に息子が誕生しました。

息子は縦抱きが好きで、特に眠りから目覚めて起き上がりたくなると抱っこを求めます。目は最初ぼんやりと見えている感じで、しましまや水玉模様のカーテンや電気の灯りなど認識しやすい物を眺めている事が多かったのですが、最近ではもっとはっきりと見えてきたのか、顔を覗き込むと笑顔を見せてくれます。

そんな新米パパの私ですが、4月19日から5月4日まで、約2週間の育休をいただきました。

お休みの期間中、息子と一緒にいれる時間がとても愛おしく、ほんのわずかしかな乳幼児期に家族で過ごせた事は本当に有難く感じています。

最近、『男性の育児というものは母親の手伝いではなく、主体的に行わなければならないものだ!』と良く耳にしますが、『そうしなければいけない!』という議論をしている事がなんだか寂しく感じました。それより、自分自身がこどもと一緒にいたいのが大切で、『一緒にいたいけどいられなかった』『いられるよう努力をしなかった事で自分自身が後悔するかしらないか』なのだと思います。私は後悔したくない! (^)/

夫婦(特に男性)が同じ意識で育児が出来れば、自然と主体的にこどもと関わる事ができ、育児はこうゆうものだ!とか、型にはめる事なくもっと楽しい時間になるはずなのになぁーっと、考えさせてくれた私の育児休暇でした。

すてっぷ・はうす 高橋和也



きょうだいの日記念イベント

4月10日は【きょうだいの日】

つどいの家きょうだい支援プロジェクトでは4月14日、ぴぼつと南光台を会場に『お花見&たこ焼きパーティー』を開催しました。2年前に取り組み始めたこのプロジェクトですが、きょうだいさんに参加してもらった初めてのイベントでした。

きょうだいさんに情報が届くよう、パートナー(本プロジェクトの協働メンバー)や町内会の方々、近隣の商店、施設等にチラシやポスターの設置をご協力いただきました。突然のお願いにもかかわらず快くご対応してくださった近隣の皆様、ありがとうございました。

おかげさまで、当日はお天気も良く、南光台3丁目公園の枝垂れ桜もきれいに咲いていて、きょうだいさんや学生パートナーさんの笑顔も満開でした。不安そうにたこ焼きを返すきょうだいさんたちに学生パートナーさんがやさしく寄り添い、みんな上手にまん丸たこ焼きを作っていました。公園ではこどもも大人もみんな一緒に駆け回り遊んでいました。

初対面のきょうだいさんや学生さんが、あっという間に打ち解けて、共に時間を過ごしている姿がとっても素敵でした。

参加してくれたきょうだいさん、ありがとうございました。

今後は小学生の部、中高生の部のきょうだい会や親子参加型イベントなどを開催予定です。興味のある方は法人ホームページ内のサイトをご覧ください。イベント、きょうだい会の申し込みフォームもごさいます。

※病气やしょうがいのある方の兄弟姉妹をきょうだいと表しています。



法人
ホームページ⇒



きょうだい支援
プロジェクトサイト
はこちら ⇒



編集後記

今年度も地域の方々とのつながりを大切に、様々な活動をしていきます。



山口